

小学校統合再編に関する経緯について

全国的に少子化が進展している中、吉見町においても、人口減少とともに、児童生徒も減少が続いています。

現在、吉見町すべての小学校は、クラス替えができない1学年1学級となっており、一部では、複式学級に該当する児童数となっている状況です。今後さらに学校の小規模化が進んだ場合、学校における教育活動や学校運営などの様々な面に影響を及ぼすことが懸念されます。また、学校施設に目を向けると、建築後55年以上が経過している校舎もあり、老朽化への対応に課題が生じています。

そのような中、吉見町教育委員会では、令和元年7月に「吉見町立学校あり方研究協議会」を設置し、将来を担う子どもたちが、より良い教育環境の中で教育が受けられるよう、多角的かつ客観的な視点から慎重に議論を重ね、調査研究報告をまとめていただきました。

この報告を受け、令和3年7月に「吉見町立学校適正規模等検討委員会」を設置し、学校の適正規模及び適正配置等について諮問をし、令和4年2月に答申をいただきました。

令和5年2月、同検討委員会からの答申を尊重し、子どもたちの社会性の育成及び互いに切磋琢磨できる場として一定規模を確保するとともに、義務教育9年間を通して小中学校の連携を図ることのできる環境を考慮しながら、吉見町の将来を担う子どもたちのより良い教育環境の構築に向けた具体策を示した計画として、「吉見町立小学校統合再編計画」を策定しました。

年 月	内 容
令和元年7月	吉見町立学校あり方研究協議会設置
令和2年1月	吉見町立学校あり方研究協議会【学校視察】 ※東第二小学校、西小学校
令和2年7月	吉見町の学校教育に関する保護者アンケート調査の実施 ※保護者数(世帯数):1,227人 回収数:914件 回収率:81.1%
令和3年3月	「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書」提出 ～吉見町立学校あり方研究協議会 全7回～
令和3年7月	吉見町立学校適正規模等検討委員会設置 「吉見町立学校の適正規模及び適正配置等について」諮問
令和3年8月	学校の適正規模や適正配置に関するアンケート調査の実施 ※町立小中学校教職員:112人 回収数:109人 回収率:97.3%
	吉見町立学校適正規模等検討委員会【先進地視察】 ※滑川町立月の輪小学校(滑川町)

年 月	内 容
令和3年9月	吉見町立学校適正規模等検討委員会【学校視察】 ※東第一小学校、東第二小学校
令和3年12月	「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書」保護者説明会
令和4年2月	<p>「吉見町立学校の適正規模及び適正配置等について」答申</p> <p>答申1：小学校数 小学校6校を1校に統合再編する。</p> <p>答申2：配置場所 新設小学校は、吉見中学校との位置関係を考慮しながら、町中央部とする。</p> <p>答申3：統合再編の時期 現在、全ての小学校が小規模校または過小規模校であり、将来的にも児童数が減少傾向にあるため、新設小学校については、できるだけ早期の開校を目標とする。</p>
～吉見町立学校適正規模等検討委員会 全8回～	
令和4年9月	(仮称)吉見町立小学校統合再編計画(案)策定
令和4年10月 ～11月	(仮称)吉見町立小学校統合再編計画(案)保護者・地域住民説明会 ※全15回延べ224人
令和4年11月	(仮称)吉見町立小学校統合再編計画(案)パブリックコメント ※意見：3人
令和5年2月	<p>吉見町立小学校統合再編計画策定</p> <p>＜主な内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合再編の方法 小学校6校を1校に統合再編 ・学校の位置 統合小学校の位置は、吉見中学校敷地内 ・学校施設 校舎、体育館等の学校施設を新たに建設 ・全体計画 令和10年4月開校予定